

令和7年度（2025年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

民 法

A日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	民	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（10点）

「特定財産承継遺言」について、解答用紙5行程度で説明しなさい。

### 問題2（15点）

次の〔事実〕を読んで、後記の〔問題〕に答えなさい。

〔事実〕

1. Aは、自家用車Hを所有していたが、友人のBがこれを購入したいというので、AB間でHの売買契約が締結された。これによれば、1か月後の大安の日に（第1納車日）、Aの自宅でHを引き渡し、その引渡しと引き換えにBが代金を支払うことになっていた。
2. Aは、第1納車日にHを引き渡す準備を完了して自宅で待機していたが、Bは友人の結婚式に出席していて、この日にA宅を訪れることはなかった。翌日、Bは、Aに事情を説明したうえで、2週間後の日曜日に引渡しを受けたい旨、願い出たところ、Aは仕方なくこれを承諾した（第2納車日）。
3. その後、Aは、通常通りの方法でHを保管していたが、第1納車日から10日が経過した日の深夜に、自動車窃盗団によりHが盗まれ、すでに海外に運ばれてしまい、取戻しは不可能になった。
4. 第2納車日に、AがBに現状を説明したところ、Bは、「Hが引き渡せないのであれば、この契約を解除するので、代金は払わない。」という。

〔問題〕

上記〔事実〕1から4までを前提として、AがBに対して「BはHの売買代金を支払うべきである。」と主張したのに対して、BはAに対して「AB間の売買契約を解除する。」と主張した。この場合、いずれの主張が正当か、について論じなさい。

以上